

# を問う

12月16日に  
7人が一般質問をしました。



井田 晴己 議員

**Q** 今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

した。今年、台風、集中豪雨、火山の噴火等の自然災害が発生して甚大な被害をもたら

**Q.** タイムラインの導入は！

**A.** タイムラインの導入に向け、検討する

検討する

しました。

この地域では、幸いに

して被害もなく安心して

生活を送らせていただい

ておりますが、一朝有事

の際に冷静な対応ができ

るか心配であります。

特に、予測できる台

風・集中豪雨においては、

被害を最小限に抑える手

法として、国・一部の自

治体・企業がタイムライ

ン（事前防災行動計画）

を導入しており、災害に

対し先手を打ち、被害並

びに混乱を避けておられ

ます。

本村としては、災害に

対するタイムラインを導

入する考えはあるのか伺

います。

台風に備えたタイムライン策定の  
取り組みが進んでいる地域

H26. 2～	三重県紀宝町
H26. 3～	東京都大島町
H26. 6～	名古屋駅前地域タイムライン
H26. 8～	荒川下流域タイムライン
H26. 8～	高知県大豊町

**A**

久野時男 村長



「タイムライン」  
については、大規

模な風水害や高潮被害等

の予測可能な災害に対し、

事前に十分な備えをとる

というものです。国土交

通省主管の東海ネーデル

ランド高潮洪水協議会で、

バスや鉄道による「広域

避難」の検討を行ってい

井田 晴己 議員

- ・タイムラインの導入は！
- ・津波一時避難所の利用方法は！
- ・揚水機場経費の助成を！

加藤 光彦 議員

- ・村の活性化策を問う

渡邊 一弘 議員

- ・聖苑の増築を求める
- ・飛島学園の現状は

伊藤 秀樹 議員

- ・食材の安全は確保されているのか
- ・村の施設維持管理は
- ・住宅開発は住民に説明不足ではないか

鈴木 義男 議員

- ・住民に優しい行政サービスを

服部 康夫 議員

- ・農業法人・集団農業組織の育成を
- ・臨海部の再開発とポートアイランドの開発を

橋本 渉 議員

- ・小中学校の給食費を無料化せよ
- ・村営住宅の建設を行え

# 策 施

るところです。これにはバスの手配や、相手先の自治体の受け入れ態勢等の課題も多く、実現までには、相当の時間を要するものと考えています。

「タイムライン」については、災害発生前にとるべき有効な対策と考えていて、今後、防災に関する計画策定の業務委託の中で、タイムラインの導入に向け、検討します。

## タイムライン（防災行動計画）とは

大規模水災害の発災前から各主体が迅速で的確な対応をとるために、いつ、誰が、どのように、何をするかをあらかじめ明確にしておくこと。それには、それぞれの主体がどのような対応をとるかを把握しておくことが必要であり、平時から各主体協働による連携が必要である。

## Q. 津波一時避難所の利用方法は！

### A. 村と地区との調整を図っていく

#### 井田晴己 議員

Q 地震に備えて、津波一時避難所の

利用を円滑に行えるよう、日頃から避難所の利用について、可能な範囲で地区の皆様の意見を取り入れながら進めていきたいと思っています。

建設も始まり、12月には三福地区で完成しますし、来年3月には大宝地区でも完成予定です。

完成した後の利用の方法について、どのような考えを持っておられるのか伺います。

#### 村 長

A 三福地区については、平成27年1

月から、大宝地区については、平成27年4月から、順次、施設の利用をしていただく予定です。

現在は、避難所に必要な備品、災害用備蓄品等の準備を行っているところです。利用の方法につ

用についてお願いをしたいと思っています。今後は、運営委員会等を設置し、村と地区との調整を図ります。



三福一時避難所

## Q. 揚水機場経費の助成を！

### A. 農家の負担を軽減します

井田晴己 議員

**Q** 飛島村内の基幹作物は水稻ですが、米価の低迷、農薬・肥料等の高騰により農家の経費負担は増え、収入が減少することは避けることはできません。

このような状況下で、農政に関わる土地改良区としても農家をお願いしている経費負担を少しでも削減できる努力をしています。ご承知のとおり予算の大半を補助金で運営をしている中、少しでも農家の負担を増加させないよう揚水機の電気料金の一部を助成していただけないかお伺いします。



大宝揚水機場

村長

**A** 現在、揚水機場の経費は、県負担3割、残りを工区で負担いただき、水田の管理をしていただいています。本村の基幹作物である水稻は、米価の下落及び不作により農家の収入が大幅に減収すると思われる。

本村のコシヒカリの等級は、9割以上が2等米で、同じような作付け条件の鍋田地区においては、7割以上が1等米と聞いています。関係団体に等級の違う原因を確認したところ、水の管理の仕方が考えられるとの回答でした。鍋田地区では、24時間通水で管理しているのに、対し、本村においては、12時間通水での管理であるため、夜間通水ができないため水田の水温が下がらない状況にあります。効率良く、効果的に水の管理をし、良質な水稻を育成し、農家収入の安定、また、負担の軽減に資するよう、揚水機場経費の一部を新年度より助成できるように検討します。

本村のコシヒカリの等

## Q. 村の活性化策を問う

### A. 飛島村らしい活性化対策を



加藤光彦 議員

**Q** 産業の景気の現状

村長は村内各種

をどのように捉えておられるのか、そして村の産業振興や活性化策についてどのような考えをお持ちでしょうかお尋ねします。

徐々に衰退しつつある村内の産業や各種団体の活動を活性化させるために行政として仕組み作り、或いはきっかけ作りをしていく必要があるのではないのでしょうか。

飛島村には地域の強みとなり得る資源として温泉、温水プール、ホウレンソウ、ねぎ、花卉、金魚、工業地帯などがあります。これら本村の優位性を活かし、専門家であるプランナーの力を借りて村おこしの計画を作成し、プロジェクトを立ち上げていくことを提案します。

豊かな財政に、決してあぐらをかくことなく、村の自発的な取り組みを積極的に進め、物心ともに村民が豊かさを実感できる施策を摸索していく

ことが求められていると思います。

一朝一夕に成果を上げることは難しいとは思いますが、試行錯誤を繰り返すなかで成功への手掛かりが見えてくるのではないのでしょうか。例えば金魚組合関係者が夏の間、すこやかセンターの前で金魚すくいをやりたいという要望も聞いております。私は意欲のある人たちには、やらせてあげれば良いと思います。もちろん、どんな商材でも良いというわけではないし、個人の利益のために許可はできないと思います。

しかし地場産業であったり、商工会や各種団体関連で、公序良俗に反しない内容であれば極力、融通をきかせた対応をしていくべきだと思います。

村の活性化を推進することで、村内に新たな雇用が生まれ、関係者や関係企業の所得の向上が期待できます。ひいては本

村の自治体としての地力や活力、そして魅力が増進することになると思います。

また、一方では役場発注の物品購入や委託などの官公需を商工会との連携を密にすることで、これまで以上に、地元業者に対し、発注を促進するとともに育成していく努力も必要だと思っています。

併せて本村には臨海工業地帯に多くの企業があり、昼間、約1万人の流入人口があることから見方によれば大きな市場と言えます。会議やイベントなどを通じて交流を更に深め、連携を強化することで生まれる需要や雇用もあると思います。臨海工業地帯と旧来の飛島村との共存共栄のために不断の努力を期待するものであります。

## 村長

### A

村内の臨海部を  
除く各種産業の景  
気の現状は、消費税増税  
及び円安、賃金値上げな  
しとの状況で悪くなっ  
ていると捉えており、村と  
して、何らかの方策が必  
要だと考えています。

現在、すこやかセン  
ター・ふれあいの郷での  
産直市、農業祭では即売  
会を行い、地元の農作物  
のPRを行っています。

また、特産品のネギ・  
ホウレンソウを使った飛  
島村せんべいの販売、新



飛島村せんべい

商品の開発目的でどう  
を、商工会・JA協力の  
もと試作中です。

今後は、村の活性化を  
実現するため、村の行  
事・施設・特産品などを  
利用した、村おこしの計  
画の作成に向け、各種団  
体と専門家を交えて話  
合う機会を設けたいと思  
います。

また、金魚関係者から  
の要望があれば十分話を  
聞かせていただき、実現  
に向け前向きに検討しま  
す。

次に、村発注の物品購  
入や委託等（官公需）を

地元業者に発注促進をと  
のご質問ですが、村では、  
村内の事業者に受注機会  
を得ていただける様、

「入札参加資格審査申請  
書」を提出いただければ、  
参加資格としています。

入札参加申請の提出業者  
の中から、「飛島村請負  
業者等選定要領」に従い、  
発注案件ごとの入札参加  
業者を選定し、入札の指  
名となります。地元業者  
の皆様が発注機会を増や  
すべく、発注金額の等級  
の上位、下位に属する業  
者も選定に加え、指名さ  
せていただいています。

また、小規模請負業務  
についても、村内の業者  
に登録申請を提出いただ  
ければ、受注機会を設け  
る目的で「飛島村小規模  
請負業務等希望者登録申  
請」制度を設け、受注い  
ただく機会としています。  
最後に、多くの企業が  
ある臨海工業地帯の企業  
連と連携し、各種施策に  
ついて検討します。



## Q. 聖苑の増築を求める

### A. 聖苑増築は考えていない



渡邊一弘 議員

**Q** 一部村民から聖苑で七日のときあげができるよう、部屋の増築を求める声を聞きました。村は聖苑の増築をすることを考えているのかを伺います。

村長

**A** 飛島聖苑は、平成7年度に運営開始してから、今年で20年目となります。聖苑の建設について、村内各地区で維持されていた火葬場を村営の火葬場として建

設し、統一することで、村民の皆様の負担軽減を図っています。

これまでに、利用者の利便性を考慮して、建物の南西側に搬入場所の確保や、北側駐車場の増設と南側駐車場の新設、それに合わせ、南北駐車場の連絡道路や南側駐車場から聖苑玄関への通路整備などを実施しました。葬祭場の利用については、近年では年間約50件、月平均では4件程の利用があります。

一日に複数の利用があるのは、年間に数回であり、特段利用者の混乱は生じておりません。

今後は、高齢化が進むことが十分考えられますが、そのための利用者の急激な増加は見込まれず、

現状での運営で支障がないと考えます。

また、初七日法要については、地区の集会所や寺院で法要を行っている方も、一部ではお見えになることは存じています。また、喪主等の利用者の自宅で仏壇の前で執り行っているのが通例であると

思います。

このことから、村有施設としての利用提供について、早急に初七日法要が行える部屋の増築の必要性が乏しいのではないかと考え、現段階での聖苑の増築は考えていません。

今後とも、聖苑施設をご利用される村民の皆様の御意見をお聞きしながら、適切な運営に心がけます。

## Q. 通級指導教室等は

### A. 現状を把握しつつ進める

渡邊一弘 議員

**Q** 飛島学園の現況を伺います。通級指導教室が今年4月より設置され8カ月過ぎました。まだ成果を求めるのは難しいと思いますが、

部活動について、女子

現況をお答えください。

スクールカウンセラーは2年前には週1、2回の配置でしたが現在は村費を入れ、ほぼ毎日配置されています。利用状況及び内容を伺います。

ソフト部が廃部の危機にあると聞きました。少子化の為とはいえ、子供らの選択肢が減ることに寂しさを感じます。今後の対応をお答えください。



飛島聖苑

村長

A

一つ目は、通級指導教室についてですが、授業の大部分を通常の教室で行いながら、とがわかるようになってきたというような保護者からの評価も受けています。

健康の保持、よりよい人間関係づくり、コミュニケーション能力の育成などの自立活動の内容を中心に、必要に応じて各教科の補充指導を小集団または個別の形態で行っ

ています。

それぞれの実態に応じたきめ細かな支援ができたことは成果としてあげられますし、勉強したこ

二つ目の、スクールカ

ウンセラーについてですが、毎日1名は必ず常駐し、相談内容は、友人関係、家庭・家族の問題、心身の発達、健康、進路・学習と多岐にわたっており、相談者も児童・生徒

部活動の現状 H26. 5. 1現在

男子	バレー部	17名
	野球部	15名
	サッカー部	19名
女子	バスケットボール部	13名
	ソフト部	14名
	ソフトテニス部	24名
混合	創作奉仕部	11名

「学校経営案」より

Q. 食材の安全は確保されているのか

A. 安全確保に努めている

及び保護者だけでなく、各学級担任とも必要に応じて連携・相談（コンサルテーション）、情報交換、ケース会議を実施しています。

最後に、女子のソフトボール部は、夏の大会を終えて、現在8年生の3名のみとなり試合ができない状況で活動していますが、来年2月に体験入部を行い、3月に入部希望を調査し、この時点で存続か廃止かを決定していくこととしています。



伊藤秀樹 議員

世間では、食の安全が取りざたされて

牛肉の産地偽装に始まり、中国では消費期限切れ食材の使用が発覚する

など、例を上げればきりがありません。

飛鳥学園や保育所・保育園で提供される給食の食材の産地は父兄方々としては実に気になるところ

そこで

◎食材の産地は確認しているか

◎中国などの外国産食材は使われているか

◎学校給食会の食材を利用しているか

お尋ねします。

また、飛鳥産の米や野菜など、できる限りの使用をお願いします。

村長

A

学校給食については、文部科学省が定めた学校給食衛生管理基準に基づき管理を行っています。食材の納品時には、栄養教諭等が検収責任者として立会い、品名、数量、納品時間、

BUSINESS  
事業案内

学校給食の目標

- 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

—学校給食法 第2条—

安定供給をめざして



愛知県学校給食会では、安全良質なパン・米飯・めんの主食を県内のすべての学校に同一価格で供給するなど、学校給食用物資の安定供給に努めています。

おいしい給食をめざして

食事内容をよりおいしく充実したものに  
するため良質で安全な学校給食用物資  
の研究開発とその供給に努めています。



愛知県学校給食会ホームページより

また、県内のすべての学校に安全で、安心、安定供給のために設置されている愛知県学校給食会からは、特に海部南部産の米を初め、パン、ソフト麺、白玉うどんなどのほか、加工食品を多く使用しています。いずれにしても、食材の安全面には、十分注意し、配慮していきたいと考えています。

し、野菜・肉類は、愛知県内を主とした国産の食材を使用しています。他の食材も、できるだけ国産を使用するように努めています。外国産としては、缶詰類等を使用しています。中国産に關しても一部、使用しているものがあります。この外国産は、食材全体の1割程度を占めていますが、納入業者には、食材の成分表と細菌検査表の安全証明を提出していただき安全性の確認をしています。

納入業者名、製造業者名及び所在地、生産地等を確認しながら受領し、この内容を検収記録簿に記入し管理をしています。食材の野菜については、地場産物の活用を図るため、JAあいち海部と飛島村の生産者が、前年度末の連絡会において、次年度の生産品と栽培時期などの打合せ会を行い、愛西市・設楽町産を使用

## Q. 村の施設維持管理は

### A. 補修が必要なものは専門家の意見を聞きながら順次進める

伊藤秀樹 議員



先日、南部体育館へ行った際、床

に雑巾があるので訪ねると、雨漏りがするから置いてあるとの答えでした。よく見ると、天井には黒い複数のシミがあり、別の壁には大きく天井から床まで、雨漏りの後が確認できました。

さらに、別の場所では壁は剥がれており、かなり前から雨漏りがあったと思われる。

体育館は床が濡れていると滑りやすく非常に危険なため、早急に修理をしていただけるものと思うが、修理の予定はどのようなになっているか。

また、同様なことが他の施設にはないか確認できているのか。

このような施設がどのようなに維持管理されているのか、お尋ねします。



村 長

**A** 法令等により実施しなければなら

ないもの、専門知識等が必要なものは委託等により実施しています。その場合、点検ごとに報告書の提出を受け、不具合等があった場合は順次修繕等の対策を行っています。また、職員等が常駐している施設に関しては職員等による日常の点検を行い、不具合を見つけた場合、軽微なものなど職員で判断できるものは修繕等を行っています。議員ご指摘の南部体育館での雨漏りは、現在4カ所確認をしています。これについては、応急的な処置ができるものは早急に修繕しますが、全体的な改修は、非構造部材の点検調査の結果等を踏まえ専門家の意見を聞きながら早急に検討します。

**Q. 住宅開発は**

**住民に説明不足ではないか**

**A. 広報誌やホームページで**

**広く周知する**

伊藤秀樹 議員

**Q** 非農家の方と雑談していて住宅開

発に話題が及んだときに「今度の住宅開発で私も買いたいけど買えんではないか」と言われた。

住宅開発は一般に広く売り出されるものであり、誰でも購入可能であるのに、このような誤解があるのは、販売方法や販売時期が村民に伝わっていないことに原因があると思われる。

私のところにも問い合わせがあり、潜在的な購入希望者は多くおられるようです。

そういった方々が適切な判断が出来るように、金額はともかく進行状況、販売時期や販売方法、そ

**A** 村 長

平成26年10月に、地権者のご理解と

ご協力で事業用地の売買契約を締結しました。

また、11月には計画区域の農地転用及び開発行為に対する許可も得ることができ、今後は、平成29年度の販売開始に向けた造成工事などを順次進めます。

今までは、地区計画の策定や法的な手続等を行ってきましたが、開発行為に必要な概ねの手続きが終了したことを受け、今年度中には、広報誌やホームページで村民や在勤者等広く周知を行います。宅地分譲は、平成29年4月からを予定しており、販売方法など詳細な部分については、今後、十分協議しながら決めていきます。予定しています「販売時期」や「販売面積」など、伝えることは積極的に周知するよう努めます。

渚地区住宅地開発完成予想図



## Q. 住民に優しい行政サービスを

### A. 利用者の目線に立つて サービスに努める



鈴木義男 議員

**Q** 村行政は住民に  
対して、決まりや  
法律を優しく親切なサー  
ビスになるよう運用して  
ほしい。

住民からの声としてよく聞くのが、公民館等の冷暖房のことですが、6月の暑いときに冷房を入れてほしいと係の職員にお願いしても、決まりが7月からとなっているからダメですと言われるまう。

住民の気持ちとしては、気温も考慮した運用をす

べきではないかというこ  
とです。

また地域において何らかの役員とか委員になり、地域住民の名簿を作成しようとして、役場へ名前を教えてほしいと言ってもプライバシーの問題があるからと言って教えてくれない。

当の役員さんにとって、名前や電話番号が隠さなければならぬプライバシーなのか疑問に思いますが、いかなどと憤慨されています。

役場の職員として、決まりや法律を破れとは言いませんが、運営とか運用方法を考えて、住民にとって少しでも喜んでもらえる行政サービスを心掛けてほしい。

### 村長

**A** 公共施設の空調  
の稼働時期につい

ては、住民・利用者の立場に立った施設管理を心がけてきましたが、公共施設を管理するという側面からは、できる限り公平な対応を前提としています

ので、議員ご指摘の空調機を稼働させるタイミング等のご意見については、他の利用者の方からい

ただくことがありました。しかし、公平さを重んじるあまり、利用者の皆様の快適性を損なうことがあってはならないと考えています。公共施設は、まさに住民・利用者の方のためのものであり、皆様が公共施設を気持ちよく利用できるようにすることが、私どもの役割だと認識しています。

したがって、今回のようなご意見には、まず真摯に向き合い、施設管理の運用方法を変える等して、ご利用いただく方々の満足度を高めたいと考えています。

具体的には、公共施設

の空調機を稼働させるタイミングについては、機械的に日付で決めるのではなく、利用者の方々の快適性を重んじて、一定の温度を基準とし、また、地域住民の名簿問合せ等についても、住民基本台帳法及び個人情報保護法の観点などから、情報の公開は難しいですが、法の範囲内においてできる限り対応していきたいと思っています。

常に住民・利用者の目線で行動し、満足をいただくことは、難しいかもしれませんが、できる限り、反映するよう努めていきます。

### 使用料一覧（1時間あたり）

4月～6月、10月～11月（空調なし）  
7月～9月、12月～3月（空調あり）

（ ）内の金額は空調を使用する期間

施設名	9:00～17:00	17:00～21:30	備考
中央公民館	3階	会議室	第1 580(870) 910(1,380) 20席、スクリーン 他
			第2 410(620) 660(1,000) 24席、黒板
			第3 410(620) 660(1,000) 20席、スクリーン 他
			第4 410(620) 660(1,000) 20席、ホワイトボード
	和室	A(15畳) 260(410) 440(650)	
		B(9畳) 220(330) 350(510)	
		C(12畳) 170(240) 250(390)	
	2階	視聴覚室 1,410(2,110) 2,240(3,370) 72席、スクリーン 他	
		音楽レクリエーション室 1,750(2,640) 2,810(4,220) 絨毯フロア、ピアノ	
		学習室 810(1,220) 1,300(1,950) 45席、スクリーン 他	
総合体育館	2階	美術工作室 640(950) 1,020(1,530) 36席、スクリーン 他	
		調理実習室 1,440(2,160) 2,290(3,440) 7テーブル	
		会議室 A 160(230) 240(360) 12席、ホワイトボード	
	1階	B 160(230) 240(360) 12席、ホワイトボード	
		リハーサル室 610(900) 980(1,460) 絨毯フロア、ピアノ	
		ホールステージ控室 14,090(18,200) 21,600(28,080) 1,104席	
	1階	トレーニング室	※1
			スクリーン等
		健康体力相談室	

施設名	9:00～17:00	17:00～21:30	備考
総合体育館	2階	体育室	全面 1,620 2,270 バスケット：2面
			1／2 810 1,130 バレー：2面
			1／6 270 370 バドミントン：6面
	1階	柔剣道場	全面 1,080 1,730
			1／2 540 860

※1 サークットトレーニング室を個人利用する場合は  
4時間以内大人（高校生以上）1人110円

## Q. 農業法人・集団農業組織の育成を

### A. 集積・集約した農業を推進する



服部康夫 議員

Q

本村は農業振興地域であるが、専

業農家として自立している人は、ごく少ない。なぜか。小規模農家が多く、

農業で生計を立てるのが困難であり、担い手もでない現状である。

大規模な組織的農業に

し、農家が生産された品を安定した価格で売れる所を築いてあげればよい。

そのために、農業法人・集団的農業の組織づくりの育成に助成を考えているか否かを問う。

村長

A

現在、村内には、

担い手の育成、並びに村の農業に見合った組織づくりに努めます。

農業法人1社、集団農業組織として営農受託部会（会員10名）があり、以前と比較しても、増えていないのが現状です。この現状を見据えると、農業の担い手の育成は、大変重要なことだと考えています。今後は、各種関係団体はもとより、農業者等と意見交換や検討会を行い、

この現状を見据えると、農業の担い手の育成は、大変重要なことだと考えています。今後は、各種関係団体はもとより、農業者等と意見交換や検討会を行い、



農地中間管理事業パンフレット  
(役場正面玄関に配置してあります)

## Q. 臨海部の再開発と ポートアイランドの開発を

### A. 必要なことについて 県に要望していく

服部康夫 議員

Q

特にポートアイランドが手付かずになっています。

将来莫大な利益を生むと思われる、約257ヘクタールある土地を、エントーテイメント的な複合施設として活用し、夢の島にすることを関係機関に提案したらどうか。

村長

A

臨海部とポートアイランドは名古屋

屋港管理組合が管理をしていますので、名古屋港管理組合の考えを述べさせていただきます。

『臨海部の再開発についてですが、船舶の大型化やコンテナ貨物の増加に対応するため、飛鳥ふ頭における既定の計画の規模拡充及び既存岸壁の増深や背後用地の拡張など既存コンテナターミナルの機能強化について検討中です。また、木材産

業の振興と発展及び西部地区の土地利用高度化を実現するため、貯木場の埋立てによる物流用地の確保及び埋立てに伴う代替貯木場の確保など西部地区の再編整備についても検討中です。

産業立地等の計画については、埋立てが完了した第2貯木場の埋立地について、平成27年度の分譲開始を目標に積極的な

セールズ活動を行っていきます。

ポートアイランドの開発についてですが、ポートアイランドは、名古屋港内のしゅんせつに伴い発生した土砂を受け入れるため、昭和49年より国が埋立てを実施しており、埋立て面積は、約257・1ヘクタールとなつ

ていますが、引き続き土砂処分場として活用して

いく必要があります。

利活用については、平成19年に策定した長期構想「名古屋港の針路」で、湾計画の改訂において、ポ

ートアイランドは、土砂処分用地として位置付けています。また、平成27年度をめどとする港計画の改訂において、ポ

ートアイランドは、土地利用計画を位置づける段階にはありませんが、名古屋港内に残された大きな可能性を有した空間であるため、国と協力し要望をしていきます。

## Q. 小中学校の給食費を無料化せよ

### A. 当面は現在の負担額をお願いする



橋本 渉 議員

村 長

Q

学校の給食費の無料制度はいくつかの自治体で実施しています。

A

現在、本学園の学校給食法における給食費の保護者負担として、小学校は、1食あたり260円、中学校は、1食あたり300円を徴

な財政を持っている村と

飛島村は日本一の豊かな財政を持っている村と

言われています。

豊かな財源を住民負担の軽減に使うべきです。

学校の給食費を無料化して住民負担を軽減すべきです。

収しています。この保護

者負担額は、海部地区の小中学校の平均に近いレベルであり、妥当ではないかと思っています。給

食経費については、村から学園の給食部会へ、1人あたり月額600円を補助し、保護者の負担軽減に努めています。

この給食費を無料にと

いう議員のご意見ですが、既に、一部の他の自治体の小中学校で、この取り



名古屋港図





学園の給食風景

組みが行われていることは承知していますし、昨今の経済状況から子育て世代の家計は厳しいものがあると思っていますが、本村では、18歳までの医療費無料化、出産祝い金や就学祝い金等、他市町村に先駆けて導入させていただき、保護者世代の支援をさせていただいています。給食費の無料化については、一部は負担していただきたいという考え方から、当面は、現在の負担額をお願いしたいと考えています。

## Q. 村営住宅の建設を行え

### A. 村営住宅建設の予定ない

橋本 渉 議員

Q

いま飛島村の子供たちが結婚しても住む所がないため飛島村を出て行ってしまうのです。

村営住宅をつくり子供たちが住める所をつくるべきです。

高層の住宅であれば水害時の避難所にもなりま

す。また、結婚して飛島村に住み子育てをしてくれれば少子化対策にもなります。

いま村営の住宅地開発が進められています。

新婚さんでは、一戸建ての住宅を買うのは困難ですので、村が一戸建ての住宅を建て村営住宅として貸してはどうか。その後、購入する希望があれば、販売するという方法を考えたかどうか。

村長

A

住宅問題については、議員もご承

知のとおり、第4次飛島村総合計画で位置づけられている平成34年度までの将来人口5,000人を達成するため、平成25年度から住宅地開発事業を推し進めるべく開発部に整備推進課を創設し、事業を進めてきました。

渚地区地権者のご理解により、新規住宅地開発を進めています。当該地は、議員ご指摘の若者が結婚後も飛島村に住み続けることができるように、戸建て住宅用地として整備を進めています。本村の

ような全域が市街化調整区域の中で通常、新たに開発を行うことは不可能であり、従来からの分家または、既存宅地を取得して住宅を建築するケースしかありません。賃貸住宅への居住ニーズがどれほどあるのかわかりま

せんが、このニーズに対し村が積極的に取り組むことは、公共の買収単価の現状からするとかなりの公共投資が必要であり、かつ、維持管理経費も勘案すると大きな財政負担を強いることとなりますので、賃貸住宅の計画は持っていません。最近では、既存住宅の流動化で、民間の業者によって販売される物件もあり、民間がそうしたニーズに対応する事例もあります。よって、現在、進めております渚地区の住宅地開発の動向を見極めたいと考えています。

